

2019年度 推薦入学試験（体育推薦） 法学部 法律学科「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
7	7

※志願者数・合格者数は、指定競技推薦を含む

2. 法律学科 アドミッション・ポリシー

法律学科は、現実の社会において発生する様々な問題について論理的かつ合理的に考えることができる法的思考能力（リーガル・マインド）を持ち、さらにその能力をもちいて、これらの問題に対して柔軟かつ適切な解決策を導き出すことができる人材の育成を目指しています。

そのため、特に以下の点について、十分な適性と意欲を持った志願者を求めます。

1. 社会の動きに広く関心を持っている人物。
2. 物事を柔軟かつ論理的に考え、それを的確に表現できる人物。
3. 高い志と正義感、忍耐力を有する人物。

A O型入学試験では、志願者の自己推薦ポイント（人間性、活動実績、将来への夢・希望など）が、これから法律学科で学んでいく上でどのような意義をもつかを、みなさん自身の言葉で明確に表現できることが望まれます。

3. 出題の意図

法律学科は、上記の通り、現実の社会の動きに広く関心を持ち、様々な社会問題に対する自己の意見を論理的な思考に基づいて的確に表現できる人物を求めています。

小論文では、論理的な思考力・表現力（文章力）が問われるのはもちろんですが、「パラリンピック」という題材への解答からは、社会における多様性や協働性への関心および知識の程度が読み取れると考えます。また、取捨選択できるキーワードを提示したことで、柔軟かつ的確な判断力や思考力があれば、それらの能力を駆使して解答することができる出題となっています。

以上のような出題をすることは、法律学科のアドミッション・ポリシーに適合する人物を見出すことに資すると考えます。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

特にありません。